

水稻特報

★ 適期収穫で胴割米を防ごう

本年の生育は7月下旬、8月上旬の気温が高く推移したため急激に草丈が伸び、出穂も平年より4日ほど早く(昨年より2日早い)になりました。しかし、一転8月中旬は気温が低く推移したため登熟期は昨年並みと見込まれます。

各圃場で登熟期判定を行い、胴割米や未熟粒混入過多といった品質低下の発生を防ぎ良質米収穫につなげましょう。

1. 落水時期の目安：概ね刈取り予定の2～3週間前から落水

早期落水は充実不足(お米が太らない)や胴割れ米の発生増加につながります。刈り取り予定にあわせて落水をしましょう。

※ただし、圃場の条件(乾くのに時間がかかる等)によっては4週間前から落水となる場合があります。

2. 成熟期の判断方法

①稲から見た成熟期 (詳しくは裏面の「帯緑色籾歩合による収穫適期判断法」をご覧ください。)

- (1) 穂の大部分の籾が黄化し、穂首に近い部分の籾に10～5%程度青みが残る頃(穂から青みが完全に抜けたら胴割米発生)
- (2) 主軸の上から5番目の枝梗まで黄化した頃(穂軸の3分の2が黄化)
- (3) 籾の黄化程度が90%の頃(バインダー刈りの場合)

②出穂期後の日数から見た成熟期

- 早生種: 40～45日(あきたこまち)
中生種: 45～50日(コシヒカリ、風さやか、もちひかり、モリモリモチ)
晩生種: 50～55日

③登熟期積算温度から見た成熟期

中野市における登熟期積算温度(注1)は、概ね1030℃前後(コシヒカリ: 南部 985℃、北部 1030℃、あきたこまち: 950℃、風さやか: 概ね 1,150℃)ですので、仮に9月1日以降平年並みの気温で推移したとして試算すると以下のように成熟期が予想されます。

収穫適期は、登熟期の5日前～5日後の11日間となります。(注2)

<例>コシヒカリ(南部)で8月6日出穂の場合、登熟期が9月16日で、収穫適期は9月11日～9月21日の11日間となります。

出穂期(注3)	登 熟 期			
	あきたこまち	コシヒカリ(南部)	コシヒカリ(北部)	風さやか(注2)
7月28日	9月5日			
7月31日	9月9日	9月10日	9月13日	
8月3日	9月13日	9月14日	9月17日	9月23日
8月6日	9月16日	9月19日	9月21日	9月28日
8月9日	9月22日	9月24日	9月26日	10月4日
8月12日		9月28日	10月1日	10月9日
8月15日		10月2日	10月5日	10月14日
8月18日		10月6日	10月10日	10月21日

(注1)登熟期積算温度: 出穂期の翌日から成熟期までの平均気温の積算値

(注2)風さやかは登熟期の3日前～5日後の間で刈りましょう。登熟期の5日以上前だと青未熟粒の混入が増加します。

(注3)出穂期: 全莖数の40～50%が出穂した日

◎本年の出穂期の状況

品 種	出 穂 期	品 種	出 穂 期
コシヒカリ	南部 8月3～8日頃	あきたこまち	7月28日～8月1日頃
	北部 8月5～10日頃	風さやか	8月4日～8月13日頃

※1 上記は移植栽培の出穂期です。直播栽培の場合は7日ほど遅い出穂期となっています。

※2 圃場の条件や田植日によって違いますので、あくまでも参考として下さい。

次面もご覧ください⇒

～米を出荷される皆様へ～

1. クサネム混入は品質低下となり、規格外となります。

クサネムの混入がないように、収穫前に抜き取りして下さい。

※ライスセンターの調整時での除去は困難です。

クサネムの混入数が

1000粒中に3～4粒混入で2等

5～6粒混入で3等

7粒以上混入で等級外になります。



2. 令和3年度のライスセンター電話番号

◎ 南部ライスセンター (0269) 23-5611

◎ 北部ライスセンター (0269) 22-5010

※昨年と番号が違いますので、お間違えのないようご注意ください。

◎ 「令和3年産水稻栽培日誌」及び「JA長野県安心基準米チェックシート」の提出について

春先に配布した『令和3年産水稻栽培日誌』は、産地並びに自分の栽培した農産物の安全性を保證する大切な資料となりますので、必ず記入いただき出荷の際に提出をお願い致します。また、「JA長野県安心基準米チェックシート」は各ライスセンターに置いてありますので出荷の際に記入し、2枚複写のうち1枚目を提出ください。

言記

1. 提出先 南部・北部 各ライスセンターまで
2. 提出日 ライスセンター出荷時
3. 対象者 **米を出荷する方** (自家用のみの方は提出の必要はありません。)

※栽培日誌が届いていない、失くしてしまったなどありましたら園芸課まで連絡をお願いします。

※ご不明な点などありましたら、JA中野市園芸課までお問い合わせ下さい。(TEL 23-3933、FAX 23-2187)

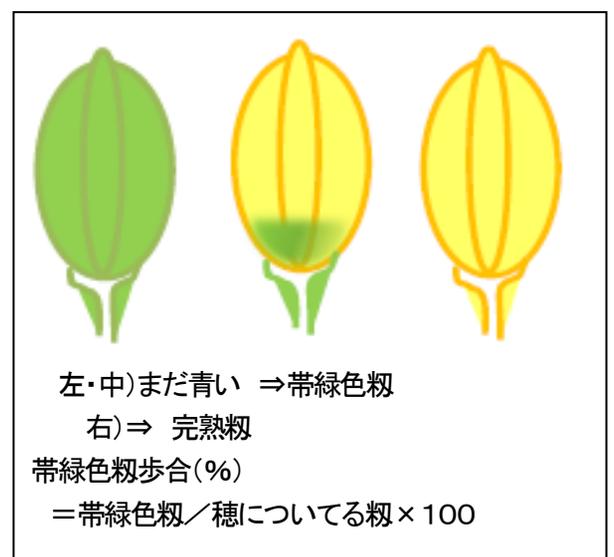
◎ 帯緑色籾歩合による収穫適期判断法

1. 調査方法

- ① 平均的な生育をしている株を選び、その中で最も長い穂を2つ選んで下さい。
 - ② 1つの穂にある全ての籾の数を数えて下さい。(不稔籾は除く)
 - ③ わずかでも青味の残る籾の数を数えて下さい。(不稔籾は除く)
 - ④ 全籾数のうち、青味の残る籾の割合(帯緑色籾歩合)を算出して下さい。
- ※穂全体の籾数が数えられない場合、目安として100粒と仮定して算出して下さい。

2. 判定方法

- ① 帯緑色籾歩合が20% … 成熟期の約10日前(刈取り適期約5日前)
- ② " 10% … 成熟期の約5日前(刈取り適期始期)
- ③ " 5% … 成熟期 (刈取り最適期)
- ④ " 2% … 成熟期後5日 (刈取り適期終期)
- ⑤ " 0% … 成熟期後5日以上(刈り遅れ) ⇒ 胴割米発生



◎ はぜ掛け乾燥を行う皆さんへ

はぜ掛け期間の目安

- 好天が続く、空気が乾燥している場合…4～5日間
- 降雨が少なく、晴天が多い場合 …7～10日間

乾燥状態を確かめる水分測定は南部・北部各ライスセンターで出来ますので、お問い合わせ下さい。

* 乾燥⇒濡れ⇒乾燥を繰り返すと、胴割米の発生増加、食味の低下などにつながりますのでご注意ください。

* ハーベスターは使用前に必ず掃除を行って下さい。ネズミの巣となっている場合があります、糞など異物混入の恐れがあります。